

表紙	講座写真 総会報告
1～2面	くらし向き調査結果報告
3面	親子講座
4～6面	担い手養成講座
7面	くらしの講座
8面	くらナビカレッジ・エシカルキャンペーン
9～10面	男の料理・おとなさまクッキング
11面	下期活動予定・編集後記

編集
発行

公益社団法人ふくい・くらしの研究所
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地
Tel 0776-52-0626 Fax 0776-52-0660



第26回くらナビ総会が行われました

2023年7月8日(土)、福井県民生協本部センター3階レインボーホールにおいて、第26回通常総会を開催しました。

- ◆会員243名中 202名(出席会員24名、書面議決178名)
- ◆議案:第1号議案・第2号議案ともに賛成多数で承認

消費者が一人ひとりの価値観を持ってくらせる、「福井らしい地域社会の実現へのお役立ち」を理念として、行政や地域の諸団体・グループ、専門家と連携しながら、「消費者市民社会とSDGsの実現」「福井の地域にあったくらし方提案」「情報発信」の3つの役割を着実に進めていきます。

今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



<2023年秋消費者の暮らし向きに関するアンケート 調査結果より>

福井県民の消費者マインドは… 物価上昇が暮らし向きに大きく影響



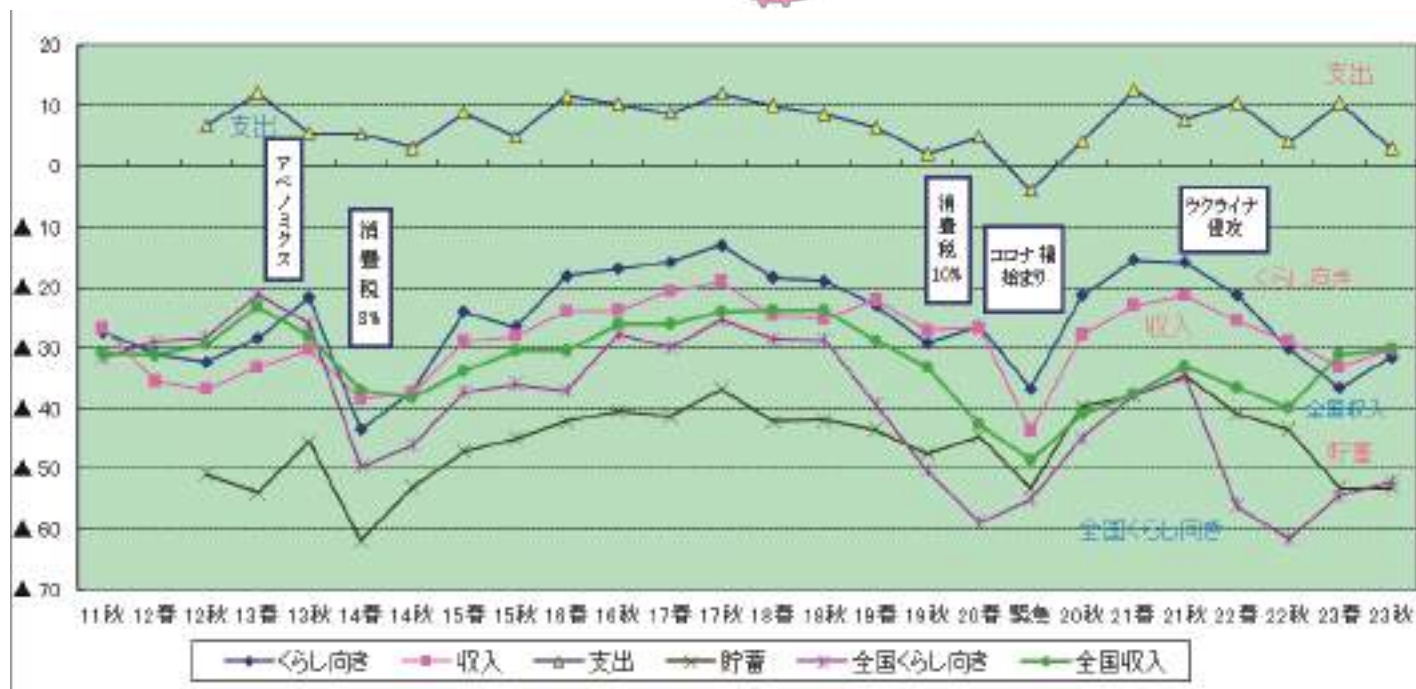
福井県内消費者に、半年前と現在の暮らし向きを比べた生活実感、および今後半年間の暮らし向きについて質問し、D.I. 値（「良い」「やや良い」から「悪い」「やや悪い」の回答割合を差し引いた数値＝景気動向指数）の結果から、福井県民の今の消費者マインドが見えてきました。この紙面でお伝えできない調査結果はくらナビホームページで報告しています（<https://www.kuranavi.jp/reports>）ので、どうぞそちらもご覧ください。

2023秋 今後半年間の暮らし向きなど

- ①今後半年間の暮らし向き・収入についてはやや回復しそうな見通しである一方、支出と貯蓄はD.I.値が下がり、物価上昇による節約志向と生活防衛意識の強まりを表す結果となりました。
- ②前年と比較した現在（実質）の暮らし向きと収入では、前回からの変化はほとんどありません。
- ③22年秋以降より、「収入」の状況に比べ「暮らし向き」の実感が悪くなっており、今後もその傾向は続く予想されます。

	暮らし向き	収入	支出	貯蓄
良くなる(増える)	0.9%	0.4%	11.5%	0.7%
やや良くなる(やや増える)	2.4%	2.2%	21.1%	2.4%
変わらない	60.7%	64.0%	36.5%	38.7%
やや悪くなる(やや減る)	25.8%	21.3%	20.5%	33.3%
悪くなる(減る)	8.5%	11.3%	9.1%	23.8%
無回答	1.6%	0.9%	1.3%	1.1%
D.I. 値	▲ 31.6	▲ 30.3	2.9	▲ 54.6

今後半年間の暮らし向きなど 過去のD.I.値推移



前年と比べた実質暮らし向きと収入の変化 D.I.値推移

実質の暮らし向き			
22年春	22年秋	23年春	23年秋
▲ 21.0	▲ 23.7	▲ 35.0	▲ 36.0
実質の収入			
22年春	22年秋	23年春	23年秋
▲ 28.4	▲ 27.9	▲ 30.7	▲ 30.9



23年秋 前年と比べた実質暮らし向き



23年秋 前年と比べた実質収入

<2023年秋 消費者のくらし向きに関するアンケート 調査結果より>

物価の上昇には贅沢品を控えて対処

物価の上昇について、具体的に聞きました。大きく値上がりしたと感じる品目では、多くの人が『ガソリン・灯油』・『卵』・『公共料金』を挙げています。「値上がりにより購入頻度や量が減った食品や日用品」では、果物や、菓子・デザートのような嗜好食品を減らし、食事作りに必要不可欠なものを優先しているようです。それ以外の品目でも、衣類や外食・旅行といった、趣味や娯楽的な出費は控えている様子が分かります。「値上がりにより安い品に切り替えた食品や日用品」では、2位以下の野菜・肉・紙製品に大きく差をつけて、『特にない』が1位でした。また、全国的な調査の比較として、日本生活協同組合連合会（日生協）が実施した同様の調査結果（2023年5月実施・回答数3278）も掲載しました。傾向に大きな違いはありませんでしたが、節約意識において全国の方が当調査（福井県）よりもややシビアにとらえているようです。

大きく値上がりしたと感じる品目

順位	品目	比率
1	ガソリン・灯油	71.6%
2	卵	66.4%
3	公共料金	56.4%
4	野菜（冷凍含む）	55.8%
5	牛乳・乳製品	46.2%
6	果物	44.0%
7	鮮魚（冷凍含む）	43.6%
8	パン	42.9%
9	肉（冷凍含む）	38.0%
10	紙製品	37.3%
11	レトルト・カップ麺 インスタント食品	35.1%
12	菓子類	29.3%
13	外食	29.1%
14	麺類	25.3%
15	調味料	24.4%
16	粉類	22.5%
17	冷凍食品	22.5%
18	デザート類・アイス	21.8%
19	洗剤など	21.8%
20	飲料・茶類・コーヒー	19.5%
21	総菜やお弁当	18.7%
22	旅行（宿泊・交通費）	16.9%
23	酒・アルコール類	16.5%
24	豆腐・納豆など	14.7%
25	住居	12.5%
26	電化製品	11.3%
27	衣類・履物	10.7%
28	米	8.0%
29	教育関連	6.7%
30	その他	1.1%
31	特にない	0.5%

値上がりにより購入頻度や量が減った品目

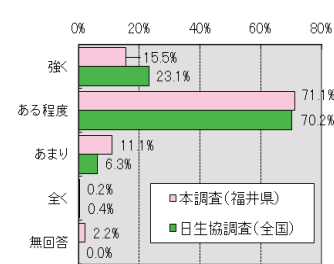
食品・日用品

当調査(福井県)		日生協調査(全国)		
順位	品目	比率	品目	比率
1	果物	37.6%	デザート類・アイス	31.3%
2	レトルト・カップ麺 インスタント食品	34.7%	卵	30.9%
3	菓子類	28.2%	菓子類	29.6%
4	調理済みの総菜やお弁当	25.5%	調理済みの総菜やお弁当	26.0%
5	デザート類・アイス	25.3%	パン	25.7%
6	鮮魚(冷凍含む)	19.5%	果物	24.1%
7	卵	17.5%	レトルト・カップ麺 インスタント食品	22.6%
8	野菜(冷凍含む)	17.1%	特にない	19.3%
9	特にない	16.7%	冷凍食品	18.2%
10	酒・アルコール類	16.5%	魚(冷凍含む)	18.1%
11	パン	16.0%	麺類	17.4%
12	肉(冷凍含む)	15.6%	牛乳・乳製品	16.4%
13	冷凍食品	13.5%	酒・アルコール類	16.0%
14	飲料・茶類・コーヒー	10.4%	飲料・茶類・コーヒー	15.3%
15	牛乳・乳製品	9.8%	肉(冷凍含む)	13.1%
16	粉類	9.3%	野菜(冷凍含む)	8.4%
17	麺類	8.2%	豆腐・納豆など	6.5%
18	紙製品	3.8%	紙製品	6.0%
19	洗剤など	3.5%	洗剤など	5.7%
20	調味料	3.1%	米	5.4%
21	豆腐・納豆など	2.5%		
22	米	1.8%		
23	その他	0.4%	その他	0.9%

食品・日用品以外

順位	品目	比率
1	衣類・履物	50.9%
2	外食	44.4%
3	旅行（宿泊・交通費）	36.0%
4	電化製品	20.5%
5	特にない	16.9%
6	ガソリン・灯油	14.0%
7	公共料金	9.1%
8	住居	4.9%
9	教育関連	4.2%
10	その他	0.4%
11	無回答	4.2%

日頃から節約を意識していますか



値上がりにより安い品に切り替えた食品や日用品

当調査(福井県)			日生協調査(全国)		
順位	品目	比率	品目	比率	
1	特にない	36.4%	特にない	27.6%	
2	野菜(冷凍含む)	17.1%	パン	15.1%	
3	肉(冷凍含む)	15.6%	紙製品	14.9%	
4	紙製品	14.2%	牛乳・乳製品	13.3%	
5	鮮魚(冷凍含む)	11.5%	肉(冷凍含む)	12.1%	
6	菓子類	11.5%	菓子類	12.0%	
7	パン	10.9%	洗剤など	11.7%	
8	果物	10.5%	豆腐・納豆など	10.4%	
9	牛乳・乳製品	10.2%	卵	10.3%	
10	レトルト・カップ麺 インスタント食品	9.5%	野菜(冷凍含む)	10.3%	
11	卵	8.9%	米	9.1%	
12	デザート類・アイス	8.7%	飲料・茶類・コーヒー	9.0%	
13	豆腐・納豆など	8.2%	麺類	7.6%	
14	洗剤など	8.0%	果物	7.5%	
15	酒・アルコール類	7.3%	冷凍食品	7.4%	
16	飲料・茶類・コーヒー	6.7%	酒・アルコール類	7.2%	
17	冷凍食品	6.2%	デザート類・アイス	7.0%	
18	調理済みの総菜やお弁当	5.5%	レトルト・カップ麺 インスタント食品	6.6%	
19	調味料	4.5%	魚(冷凍含む)	6.3%	
20	麺類	3.8%	調理済みの総菜やお弁当	5.3%	
21	米	2.5%			
22	粉類	1.5%			
23	その他	0.7%	その他	0.9%	
24	無回答	9.5%	無回答	20.7%	

ここ3カ月でどのような項目の節約を行いましたか

当調査(福井県)			日生協調査(全国)		
順位	品目	比率	品目	比率	
1	外食	51.8%	普段の食事	60.9%	
2	普段の食事	44.5%	外食	49.5%	
3	衣類・靴・服飾雑貨	44.5%	水道光熱費	46.9%	
4	水道光熱費	32.4%	衣類・靴・服飾雑貨	39.7%	
5	娯楽	23.1%	娯楽	23.6%	
6	家具・生活雑貨	18.7%	家具・生活雑貨	16.7%	
7	交通・通信	12.9%	交通・通信	15.1%	
8	節約はしていない	7.6%	保険・医療費	5.9%	
9	住居	6.0%	住居	4.2%	
10	保険・医療費	5.6%	節約はしていない	4.1%	
11	教育費	5.6%	教育費	3.9%	
12	その他	0.9%	その他	0.9%	

令和5年度 福井県消費生活センター委託事業 親子講座をリアル開催しました！

カードゲームを体験し、SDGsとは何かを学びました。また、繰り返し使えるみつろうラップ作りを通して、海洋ゴミ問題について考えました。



7/22

「楽しく学ぼうSDGs♪ SDGsカードゲームとみつろうラップ作り」

講師：2030SDGs公認ファシリテーター 高井 健史氏

合同会社Navi Pen 代表 前田 和代氏



参加した
子ども達
からの声

- SDGs達成のためにはたくさんの人や時間を使うことが分かった。
- 日本で捨てられたゴミがハワイまで行っていることに驚いた。
- みつろうラップは、地球の環境のためになると思った。

ラップ
作りを
体験→

令和5年度 鯖江市提案型市民主役事業 エシカルライフ食の安全安心体験講座を開催しました！

7月は親子講座、10月は鯖江高校 スポーツ・健康福祉コース 2年生を対象に講座を行いました。

7/29

「おうちのキッチンから始めよう♪地球に優しいエコクッキング」

講師：管理栄養士 野路 直美氏

エコクッキングは、買い物、調理、食事、片づけの場面で、人・社会・地域・環境に配慮した工夫をすること。お店で商品を選び、豆腐が入ったモチモチ白玉団子を作りました。



参加した
子ども達
からの声

- これからは地球に優しい買い物をしようと思った。
- モノを大切にしたいと思った。お団子を簡単に作れて楽しかった。
- 洗剤を使うかどうか考えたり、生ごみをはかったりして面白かった。

10/5

「出汁の文化を通じて SDGsについて学ぶ」

講師：天谷調理製菓専門学校 管理栄養士 吉田 明日香氏



出汁を試飲し、味やその香りを体感。だし殻を利用したきんぴらやポテトサラダを試食。日本が大切にしてきた出汁の文化とSDGsとのつながりについて学びました。

令和5年度 福井県消費生活センター委託事業 消費者教育担い手養成講座「私の選択とこれからの暮らしの基本セミナー(10回連続講座)」をリアル&オンライン開催しました！

「消費者市民社会の実現」を大きなテーマとし、消費生活についての知識を広め、周囲にも伝えられる消費者教育のリーダー育成をめざしました。地域で活動されている県内の消費者団体との交流会も開催しました。講座の様子や学習したことなどをご紹介します。

9月8日 ● 開講式 第1回『エシカル消費のすすめ』

「消費の力が社会を変える 今私たちにできること」 講師：福井県防災安全部 県民安全課 新田 直哉氏

「エシカル消費」の環境、人・社会、地域への配慮について解説されました。



福井県消費生活センター 柳原 仁一所長に開講のご挨拶をいただきました。



9月15日 ● 第2回『もったいないを見直すレシピ』

「余った食材あるもので 無駄にしない使い切り」 講師：天谷調理製菓専門学校 管理栄養士 吉田 明日香氏

家庭でロスになりがちな食材を上手く活用する方法を体験しました。



キャベツの炊き込みご飯、鯖缶と豆腐のチヂミ、丸ごとピーマンのフリット等の調理実習を行いました。



9月22日 ● 第3回『持続可能な食生活のカギ』

「次世代につなぐ食について考えてみませんか？」 講師：NACS 消費生活アドバイザー 中村 智恵美氏

大豆ミート、昆虫食、代替卵、ゲノム編集技術応用食品などの特徴や課題を学びました。



次世代につなぐ食には何が必要かをグループに分かれて話し合いました。



9月29日 ● 第4回『物価高に負けない家計管理』

「本格的な物価高の到来 新しい家計管理法にチャレンジ」 講師：家計の見直し相談センター 代表 藤川 太氏

従来の家計の見直し方法に加えて、新しい時代の家計の見直し方法を紹介されました。



今注目されている新しいNISA制度について学びました。



10月6日 ● 第5回『コロナ禍の住まいの見直し』



「自分らしく快適に過ごすには？毎日が楽しくなる空間づくり」 講師：ライフオーガナイザー よしだ ゆかり氏
暮らし、住まい、自分のことについて振り返り、自分が目指す状態に暮らしを整える方法を学びました。



4つのカテゴリーを使ったモノの選り分け方や手放し方のヒントなどを紹介されました。



10月20日 ● 第6回『明日に備える防災の心得』



「気象情報の読み取り方 リアルタイムの情報を知る」 講師：村田気象予報士事務所 気象予報士 村田光弘氏
気象災害が多発する中、いざという時の避難行動や日頃の備えを学びました。



防災用品の見直しやローリングストックなど、普段から防災を意識した行動を勧められました。



10月27日 ● 第7回『商品テストを体験しよう』



「センターの役割について学ぼう 食品の塩分濃度測定&塩のとり方」
講師：県消費生活センター 研究員 井藤 有美氏・県消費生活センター 消費生活相談員 坪川 和子氏
消費生活アドバイザー 玉村 七重氏

近年増加傾向にある定期購入トラブルやフィッシング詐欺等のトラブルを回避するポイントを学びました。



塩分濃度測定を体験。塩分との上手な付き合い方や美味しく減塩・排塩するコツも学びました。

11月10日 ● 第8回『温暖化防止に繋がる工夫』



「家庭におけるムリ・ムダ・ムラの省エネ&ゴミの減量について考えよう」
講師：香川県地球温暖化防止活動推進員 うちエコ診断士 福家 由佳氏

家庭で簡単に取り組むことが出来る省エネや節電のコツを解説されました。



家庭のゴミを減らす方法として買いすぎず使い切る・物を大切に使う・リメイクする等のアイデアを出し合いました。



11月24日 ● 第9回『いまだきのネットトラブル』



「上手にネットと付き合いおうトラブル事例と対処法」講師：福井県金融広報アドバイザー 中嶋 恵美氏
 様々なネットトラブルの事例を挙げ、注意すべきポイントについてお話いただきました。



通信販売の注意すべきサイトの確認場所や定期購入を申し込む前の確認ポイントなど、トラブル回避術を学びました。



12月1日 ● 閉講式・第10回『まとめ・消費者市民社会』



「私たちが創る消費者市民社会 考え判断し行動する」講師：福井大学 教育地域科学部 名誉教授 荒井 紀子氏
 消費者が主役となる住みやすい社会を創るため、一人ひとりができる 具体的な行動について話されました。



柳原所長にご挨拶いただき8回以上出席された受講生に修了証書を授与しました。



10回の講座を通して、くらしの現状を学び、これからの消費者市民社会を担う私たちはどんな力をつけたらよいのか、私たちには何ができるのかについて学びました。

☆ 講義終了後に、地域で活動されている県内の消費者団体との交流会を開催しました♡

☆福井市くらしの会 会長 田村洋子氏



持続可能な社会や安全・安心なくらしのための取り組みをしています。「私たちに何ができるかを考えましょう。」と話されました。

☆敦賀市消費者連絡協議会 副会長 増田正樹氏

チャレンジする時、「出来ない」の理由付けをせず、一歩踏み出し、消費者の立場を向上させる活動に関心を持ってください。」と呼びかけられました。



☆越前市消費者グループ連絡協議会 会長 川崎 則子氏

4地区のグループに分かれて、地域とのかかわりを大切にしながら消費者の意識向上に取り組まれています。



☆小浜市消費者協議会 会長 工藤心さ子氏



毎年マイバッグを作成し、配布されています。男性のマイバッグ持参率を上げるための啓発活動を継続されています。

☆勝山市消費者団体連絡協議会 会長 山場真理子氏

同団体所属の高齢者啓発劇団「くらしの一座」に時代劇「悪質商法にだまされんぞ！」を披露いただきました。



☆嶺南消費生活研究会 会長 朝倉 恵子氏

くらしに密着したテーマで、商品選びのポイントについての報告書を約20年にわたり、作成されています。



☆福井県消費生活研究会 会長 吉田 由美江氏



自主研究グループとして、毎月1回の定例会を持ち、テーマを決めて学習会や実験、商品比較テストを行い、HP等で情報提供されています。



令和5年度福井県消費生活センター委託事業 消費生活セミナー「くらしの講座」を開催しました！会場及びオンライン同時開催を行いました！

今年度は、家計管理、食の安全安心、消費者トラブルをテーマに講座を開催しました。

9月30日



「物価高に負けない家計管理」 講師：家計の見直し相談センター 代表 藤川 太氏

今後日本で予想される状況を踏まえ、資産運用にも目を向ける必要があることを話されました。今注目されている新しいNISA制度について学びました。



11月4日



「知っておきたい！新たな遺伝子組換え表示制度」

講師：至学館大学 健康科学部 名誉教授 小塚 諭氏

遺伝子組換え農産物やその加工食品の表示の読み取り方を解説されました。



11月18日



「落語で学ぶ 消費者トラブルあれこれ」 講師：はやおき亭 貞九郎氏

最初の演目では、振り込め詐欺の犯人2人が年齢や家族構成が乗った名簿を入手し、弁護士や保険会社の社員を名乗ってお年寄りをだまそうとするやり取りを軽妙な語り口で紹介しました。



今年度もハーツきっず食育講座を開催！

講師：消費生活アドバイザー 玉村 七重氏

ハーツきっずと連携した子育て支援を継続しています。食育講座に加えて悩み相談などにも対応しています。今期は、利用頻度の高い食品群について、選び方のポイント、気をつけたい点をお伝えしました。

5月 子どもの骨を元気に丈夫に&乳製品アレコレ

6月 発酵食品のふしぎ&調味料の選び方

7月 加工・インスタント食品と上手に付き合う&ハム・ウインナーの選び方

8月 旬の野菜を食べよう、野菜果物のチカラ

9月 豆は元気の素 豆腐・味噌・醤油の選び方

10月 甘さを知りましょう(お菓子・ジュース・パンの糖分)



令和5年度 くらなび主催「くらなびカレッジ」前期2講座を開催しました！

今年度から、ふくい・くらしの研究所の独自企画として「くらなびカレッジ」を開設しました。くらしの中の身近なテーマで、大人の学びの場を提供します。前期2講座は、家庭でできる「環境に優しい行動」について、お話いただきました。会場とオンラインの同時開催を行い、多くの方にご参加いただきました。



10/14

「レッツトライ！ゴミを減らそう 家庭でできる工夫とは？」

講師：整理収納アドバイザー 大塚 澄枝氏



ゴミを減らすことは、環境に良いだけではなく、精神的、経済的、時間にもゆとりができ、たくさんのメリットがあります。



11/9

「地球温暖化防止に繋がるムリ・ムダ・ムラのない省エネ」

講師：香川県地球温暖化防止活動推進員 うちエコ診断士 福家由佳氏



電気料金の値上げなど家計への負担が心配されます。家庭で簡単に取り組むことができる省エネや節電のコツを解説されました。



福井県委託事業 エシカル消費促進事業「エシカルチャレンジ2023」開催中！

エシカルチャレンジ2023公式Instagramまたは公式X(旧ツイッター)をフォローして、クイズに答えた方の中から抽選で、エシカルな福井県産品をプレゼントするキャンペーンです。第1回～第3回が終了し、第4回プレゼント企画「アップサイクルクラフト 穀物袋のトートバッグ2種」を 2月10日まで行います。皆様のご参加お待ちしております。

参加して下さった皆様からの声 ♡



- 地産地消を積極的に行うことで地域の生産者の支援となると思っています。
- 地産地消を心がけ、残さずに食べることを子どもたちに伝えていきたいです。
- このキャンペーンをきっかけに意識して行動するようになりました。
- 節約の行動がエシカル消費ということを知りました。
- 良いものを大切に使うことを意識して 日々の暮らしを楽しんでいます。
- 子どもたちの未来のためにできるだけことはしていきたいです。
- もったいないをプラスにかえるととても良い取り組みだと思います。



詳細・応募はこちら⇒



男の料理



～世界平和は家庭の食卓から～

講師：出倉 弘子 氏

「食べること」は人生の大きな楽しみ。『今日は何を食べようかな』がワクワクであるように、美味しいものを探す旅が続きます。



意外にも家で作ることが少ないミンチカツに挑戦。焦がさず中まで火を通すのが結構難しい！野菜もたっぷり添えて、夏のボリュームランチを楽しみました。

7月



minestrone

6月

スープに揚げ物、オープン焼き、すべてじゃがいもを使った「じゃがいも尽くし」の6月。和風も洋風も、何にでも使えるじゃがいもの実力を見直しましたね。



8月



リクエストのあった豚の角煮を作りました。あっさりと夏でも食べやすい味付けです。

甘辛いく炒め煮したピーマンは、驚くほどたくさん食べられます。



Горшок

おひとり一尾ずつ、魚を捌きました。大きなふくらぎは三枚おろしに、いわしは手びらきで。

魚料理は面倒なイメージがありますが、この日作った赤魚のちり蒸し、めぎすの塩茹ではごくシンプルながら、魚のおいしさを味わえる調理方法です。

先生作のお刺身の美しさ！



11月



スープやシチューなどにパン生地をかぶせて焼くつば焼きは、ロシアの料理。温かい料理が恋しくなる時期にぴったり。

里芋のグラタンに、レンコンの甘酢炒め、芋きんつばと、秋の味覚をたっぷり詰め込んだメニューです。

10月

おとなさまクッキング

ハーツつるがにて開催

講師：鴛田 洋美 氏

7月30日(日)

11月12日(日)



親子で楽しいお菓子作り！
恐竜の化石クッキーです。
複雑そうに見えますが、実は意外と簡単にできるんです。



北陸新幹線敦賀開業が待ち遠しい！
新幹線オムライスの、おとなさまランチ。
SNSでも流行中の、ライスペーパーを使ったデザートも。

コレ！

下期企画カレンダー

★日時や内容は変更になる場合があります

1月	18(木)	男の料理 ●木曜コース 『飽きたなんて言わせません！餅料理』	10:00～13:00	ハーツ学園
	20(土)	男の料理 ○土曜コース 『飽きたなんて言わせません！餅料理』	10:00～13:00	ハーツ羽水
2月	10(土)	おとなさまcooking特別編 新幹線開業間近！！ オリジナル新幹線を作って食べよう♪	10:00～13:00	ハーツつるが
	11(日)	出倉弘子の料理ライブ in 学園	14:00～16:00	ハーツ学園
	15(木)	男の料理 ●木曜コース 『豆腐料理』	10:00～13:00	ハーツ学園
	17(土)	男の料理 ○土曜コース 『豆腐料理』	10:00～13:00	ハーツ羽水
		男の料理 ★特別企画 『みそ作り』	13:15～16:00頃	
3月	10(日)	出倉弘子の料理ライブ in 学園	14:00～16:00	ハーツ学園
	16(土)	男の料理 ○土曜コース 『チーズ・ヨーグルトを使った料理』	10:00～13:00	ハーツ羽水
	21(木)	男の料理 ●木曜コース 『チーズ・ヨーグルトを使った料理』	10:00～13:00	ハーツ学園
4月	14(日)	出倉弘子の料理ライブ in 学園	14:00～16:00	ハーツ学園
	18(木)	男の料理 ●木曜コース 春の食卓	10:00～13:00	ハーツ学園
	20(土)	男の料理 ○土曜コース 春の食卓	10:00～13:00	ハーツ羽水

編集後記

北陸新幹線の福井県延伸までいよいよあと2か月。福井県と関東方面間のアクセス利便性は大きく向上し、旅行、ビジネス、進学など、さまざまな場面で関東へ意識が強く向くことが予想されます。

一方、「しらさぎ」と「サンダーバード」が敦賀止まりとなることにより、中京や関西との関係に影響があることを心配する声があるようで、中日新聞には、「北陸新幹線で敦賀まで、しらさぎに接続し、米原から東海道新幹線を利用した場合、最大2回の乗り換えが必要となる。名古屋市内の利用者からは『北陸への足が遠のく』との声が漏れるなど、東海と北陸のつながりの希薄化が懸念される」との記事があります。

さて、JRで新幹線と在来線特急を乗り継ぐ場合、在来線特急の特急料金が半額になる「乗継割引」はご存じですか？例えば、米原乗り換えで東海道新幹線を利用すると、しらさぎの特急料金は半額になります。北陸新幹線延伸後、このルールを利用して、福井→敦賀を新幹線に乗って、敦賀からのサンダーバードの特急料金を半

額にできるのではと期待していたのですが、乗継割引は廃止とのこと。

福井から東京が直通になったことでも実感できるとおり、整備新幹線の開業が進んだ現在「乗継割引」は役割を終えたということなのでしょうが、消費者にとってお得な制度がなくなるのは残念です。いろいろなルートで旅行の計画を立てる楽しみや、電車代をこれだけ節約した、という満足感が減るのも寂しく感じます。

ちなみに、この「乗継割引」は、特急→新幹線の場合、新幹線の乗車が翌日でも適用されますが、これは、夜行列車が多かった時代の名残だそうです。そのような歴史にまつわる話を聞くと、遠い昔が懐かしいような、時代の変化を感じるような、これがノルスタジーというのでしょうか。

(実はそこまで電車に詳しくないです)